

8. 中国（地域別調査機関：公益社団法人中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
(中国)		家電量販店（販売担当）	販売量の動き	・エアコンの需要が大きい。
		一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	単価の動き	・単価が平均して1割ほど上昇している。
		一般小売店〔靴〕（経営者）	お客様の様子	・高単価商品を扱っているため、来店する客は財政事情が良い人が多い。
		コンビニ（副地域ブロック長）	単価の動き	・中食や生鮮食品、日配食品の販売量が大きく変わってきており、猛暑で飲料の販売高も上昇傾向にあり、購入量増加に貢献している。
		家電量販店（企画担当）	販売量の動き	・来客数は前年の90%であるが、販売量が増えているので景気は良い。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（管理担当）	来客数の動き	・6月末に新しい施設がオープンし、想定以上の来客数で、売上が伸びている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・集中豪雨での交通規制が影響して来客数が減少しているが、前年同時期と比べて売上は増加している。
		一般レストラン（店長）	単価の動き	・来客数は前年並みで推移しているが、客単価は前年を上回っており、予約料理も前年に比べて高単価のメニューがよく出ている。
		一般レストラン（外食事業担当）	来客数の動き	・客単価の上昇が来客数の減少をカバーして売上は前年の100%を維持しているが、6月中旬から来客数が前年の101～102%に回復している。週末のランチタイムの売上が前年の95%となり、競合店と客の取り合いになっている。7月に入って予約宴会が前年の92%に落ち込んでいるが、ディナー全体では117%と伸びている。ファミリー客が増え、法人関係や若い人の飲み会が減少している影響で、食べ放題の売上構成比が低下している。
		観光型ホテル（営業担当）	来客数の動き	・夏休みシーズンで来客数が増加している。
		タクシー運転手 タクシー運転手	販売量の動き お客様の様子	・売上が前年の105.2%である。 ・ボーナス月なので夜の客の動きが出ており、昼間も暑さのせいで乗車率が伸びている。
		通信会社（工事担当）	お客様の様子	・客の様子から景気は良い。
		テーマパーク（業務担当）	来客数の動き	・夏休みに入り来園者数が徐々に増え始めている。
		設計事務所（経営者）	お客様の様子	・新年度に入り客の住宅購入意欲は上昇している。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・店舗により好不調の差があり、景気の良し悪しを決めるのは難しい。
		商店街（理事）	来客数の動き	・バーゲンセールが始まり夏休みに家族で出かけるなど、非日常的な状況で客の購買意欲は向上している。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・天候不順で地元客の来客数が減少し、観光客の動きも例年より悪い。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・客の買い控えが目立つ。
		一般小売店〔茶〕（経営者）	来客数の動き	・前月から比べると売上がやや上向いているが、夏祭りの人出は前年より少なく、イベントの売上は減少している。
		百貨店（経理担当）	販売量の動き	・前年売上を下回る部門が多く、クリアランスセールは低調でファッション部門は厳しい状況であるが、服飾雑貨の催しが好調で売上を大きく伸ばしている。お中元ギフトは客単価が上昇しているものの、1人当たりの注文件数が減少しているため前年売上をやや下回っている。また、抽選会の応募件数は前年を上回っている。
	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・来客数は増加傾向であるが、買上点数と客単価が低下しており、売上は前年割れの見込みである。セール期であるが、客の慎重な購買姿勢に変化はない。	
	百貨店（販売促進担当）	単価の動き	・不安定な気候の影響で来客数が減少し、お中元や宝石類の客単価が低下しており、特に紳士物が苦戦している。	

百貨店（売場担当）	お客様の様子	・前月まで好調に推移していた食品関係が厳しい状況になっており、雑貨も好調アイテムと不振アイテムが明確に分かれ、化粧品は好調であるが洋品は苦戦しているなど、つかみどころのない状況が続いている。
百貨店（購買担当）	お客様の様子	・紳士服、婦人服、子供服共に動きはかなり悪く、夏物のクリアランスセールが前倒しになり、秋物商材が早く出たため動きが鈍くなっている。集客が図れる物産展を行っているが、暑さで客足が鈍い。
百貨店（売場担当）	お客様の様子	・夏のクリアランスセールがスタートした6月は夏物衣料の動きが良かったが、大雨の影響で7月は失速気味である。梅雨明け後は客の価格志向が一層強くなり、近隣のディスカウント店のオープンセールの影響も受けて、食品、衣料品共に動きが今一つで前年割れの状況である。
スーパー（店長）	来客数の動き	・客単価と買上点数に変化はない。
スーパー（店長）	販売量の動き	・価格を安くしても必要最低限の数量しか購入しない客の状況に変化はなく、販売点数の伸びは悪い。
スーパー（店長）	お客様の様子	・気温が高く、雨もまばらなので野菜価格が上昇し、販売量が伸びない。
スーパー（総務担当）	来客数の動き	・来客数に変化はないが、売上が伸びていない。
スーパー（業務開発担当）	販売量の動き	・野菜価格が前年より8%も安くなり販売点数は増加するが売上が伸びず、さらに不漁によるイカの価格高騰で販売数量が減少して厳しい状況になっている。
コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・来客数は増加しているが、客単価が横ばいになりつつある。
コンビニ（支店長）	来客数の動き	・前年比で来客数の増加が継続している。
家電量販店（店長）	競争相手の様子	・猛暑で全般的に販売量が伸びているが、競合他社と比べると伸び率が低い。相変わらず薄利での販売が続いており、そこまでしないと販売につながらない。
家電量販店（店長）	来客数の動き	・イベントで来客数は増えるが、売上が伸びることはない。
家電量販店（店長）	来客数の動き	・当地方では気温がそれほど上がらず、エアコンの動きが悪い。
乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・大手自動車メーカーの燃費不正問題の影響がなかった一昨年と比較すると、状況は変わらない。
乗用車販売店（店長）	来客数の動き	・さまざまな企画で客の呼び込みを図っているが、来客数は前年の70%で推移している。
乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・修理の客は変わらないが、自社客以外の新車購入の客数が前年割れしている。
乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・販売台数が伸び悩んでおり、点検や車検の客も減少している。
自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・景気が良くなっている実感はなく、格差が法人間でも大きくなってきている。
その他専門店【土産物】（店長）	来客数の動き	・梅雨が明けてから客足が戻っているが、売上は良くなく、今後の見通しも期待できない。
その他小売【ショッピングセンター】（所長）	来客数の動き	・7月前半は雨が多く、前年と比較して来客数が大幅に減少したが、梅雨明け後は来客数が増加して7月見込みとしては前年並みの状況である。
高級レストラン（宴会サービス担当）	来客数の動き	・平日は人の動きがなく、土日の昼は慶弔での利用がみられる。
都市型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・夏に入って宿泊客数は増加し、ピヤパーティーの客も増えて景気は上向いている。
都市型ホテル（企画担当）	来客数の動き	・関東からの宿泊客数が好調であるが、海外からの宿泊客数が減少しており、特にアジアからの個人客の減少が目立っている。レストランは高単価店舗への来客数が若干増加している。
旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・客は政治主体での景気回復を当てにしていなくて、経営者が努力せざるを得ない。
旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・夏需要については実際の申込が増えているが、エリアによって販売状況に差があり、全体として良いと言えない状況である。
タクシー運転手	お客様の様子	・客が減少している。
通信会社（販売企画担当）	販売量の動き	・商品数が増えていない。

通信会社（企画担当）	お客様の様子	・ボーナス月なのでモバイルサービスを中心にサービスの購買や検討の動きは悪くない。
通信会社（総務担当）	それ以外	・通信業界においては変動要素が少ない。
テーマパーク（管理担当）	来客数の動き	・入館者数と商品販売高は前年同月と変わらない。
ゴルフ場（営業担当）	お客様の様子	・例年同様、梅雨が明けて蒸し暑い日が続き、来客数に変化はない。
競艇場（職員）	販売量の動き	・売上が横ばいで推移している。
美容室（経営者）	それ以外	・駅前の大型ショッピングセンターができてから土日の来客数が減少し、売上が落ち込んでいる。
設計事務所（経営者）	お客様の様子	・住宅、非住宅を問わず民間工事の相談件数が減少しており、客に景気が良かったところの元気さがない。
設計事務所（経営者）	それ以外	・建築現場は人手不足で建築物価が高止まりの状態が続いている。特に非木造住宅は工事規模が小さいことから単価が上がり、着工できないケースが増えている。
設計事務所（経営者）	単価の動き	・相変わらず単価は低い。
住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・総合住宅展示場への来場者数が依然として低調なままである。
一般小売店〔食品〕（経営者）	販売量の動き	・酒税法の改正で値上げとなったビールの箱買いが減少しているが、6缶パックの売上が増加している。
一般小売店〔印章〕（経営者）	来客数の動き	・来客数と売上が減少している。
百貨店（営業担当）	販売量の動き	・6月にクリアランスセールが前倒しになり、暑さが増した7月に入って割引率が大きくなっている。化粧品や特選品の売上は前年並みであるが、クリアランス商材と定価品の動きは前年より悪く、衣料品は非常に厳しい状況である。
百貨店（売場担当）	販売量の動き	・割引キャンペーンで真珠が売れているが、100万円以上の商品は売れない。
スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数が前年の97%、販売単価は前年の98%である。
スーパー（店長）	販売量の動き	・買上点数の前年割れが続いており、客は節約志向になっている。
スーパー（営業システム担当）	販売量の動き	・荒天により土用の丑の日の売上が前年を下回っている。
スーパー（管理担当）	販売量の動き	・来客数が減少しており、それに比例して販売量に影響が出ている。
スーパー（販売担当）	来客数の動き	・ここ数か月客単価はほとんど変わらず景気の変動は少ないが、今月に入り来客数の落ち込みが激しい。猛暑が影響し、特に日中の来客数の減少が顕著で、売上も減少している。
スーパー（財務担当）	来客数の動き	・天候の影響で来客数が減少し、青果の相場安による1品単価と売上が前年割れとなっている。
スーパー（販売担当）	お客様の様子	・商品を購入する客が減少している。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・郊外の店舗では海の日を中心とした三連休の売上が良くなっているが、住宅地に立地する当店では来客数が前年より減少し、特に三連休の売上が悪く、商品がかなり余っている。
衣料品専門店（経営者）	競争相手の様子	・客の購買意欲は低下している。
乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・商品改良されているにもかかわらず販売量が伸びない。
乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・整備入庫は多いが、新車の来客数が落ち込み、成約件数が前年を大きく下回っている。
住関連専門店（営業担当）	来客数の動き	・天候の影響もあり土日に来客数が増えない。
その他専門店〔和菓子〕（経営者）	来客数の動き	・気温の上昇とともに当店がある島への来客数が減少している。
その他専門店〔布地〕（経営者）	お客様の様子	・客に購買意欲がない。
スナック（経営者）	来客数の動き	・今月初旬は来客数が少し良かったが、中旬以降は客足が鈍ってきている。

	その他飲食 [サービスエリア内レストラン] (店長)	来客数の動き	・九州北部豪雨の影響で高速道路の利用が減少し、来客数が少ない。
	都市型ホテル (企画担当)	来客数の動き	・好調であった前年の反動を見込んでいたものの、インバウンド団体の減少やプライダルなどの個人イベントの受注減など想定以上の影響がある。レストランでの予約受注はやや増加しているが、飛び込み宿泊客の利用が苦戦しており、企業の利用も落ち込んでいる。
	都市型ホテル (総支配人)	販売量の動き	・今月は学会などイベントが少なく低調で、観光客も大雨の影響で動きが悪く伸び悩んでいる。
	通信会社 (広報担当)	お客様の様子	・機能に見合った価格ではなく、常に安い価格のみを求める客が増えている。
	通信会社 (総務担当)	販売量の動き	・新規契約数が増加する年度替わりの3か月前と比べれば契約数は減少している。
	テーマパーク (営業担当)	来客数の動き	・猛暑とゲリラ豪雨により屋外施設は敬遠される。
	美容室 (経営者)	販売量の動き	・夏向け商材の動きが停滞しており、客は消費を抑えている。
	住宅販売会社 (営業担当)	来客数の動き	・夏場は客の動きがなくなるので、今月は来場者数と問い合わせ件数が減少している。
	x 商店街 (代表者)	単価の動き	・夏のセールで消費が活発になる時期であるが、客は必要なときに必要な商品しか購入しない傾向にあるため、売上は非常に悪い。
	x 自動車備品販売店 (経営者)	販売量の動き	・インターネット販売の安値販売が横行し、店頭販売が難しくなっている。
企業 動向 関連	輸送用機械器具 製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・自動車部品製造は順調で好景気である。
(中国)	化学工業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・自動車部品関連を中心に主要取引先の増産に加え、競合他社のプラントトラブルも重なり、受注量が前年同月比10%以上増加している。
	化学工業 (総務担当)	受注量や販売量の動き	・東京オリンピックの影響で関東向けのセメントと生コンの出荷が好調である。原燃料高により収益性は低下しているが、需要が増えることは良い傾向である。
	窯業・土石製品 製造業 (総務経 理担当)	受注量や販売量の動き	・大口注文の生産に着手しており、徐々に生産量が増加するが、他の通常品の引き合いは強くない。
	鉄鋼業 (総務担 当)	取引先の様子	・設備投資関連でわずかに動きが出ており、取引先の活動の下支えになっている。
	建設業 (総務担 当)	受注価格や販売 価格の動き	・受注単価が採算ベース以上となっている。
	輸送業 (経理担 当)	受注量や販売量の動き	・倉庫案件で荷動きが良く、飲料なども暑さの影響で堅調に推移している。
	金融業 (融資企 画担当)	取引先の様子	・系列完成車メーカーの新型スポーツ用多目的車の販売が好調で、地元部品メーカーの受注量は高水準を維持しており、休日操業も増加している。
	農林水産業 (従 業員)	受注価格や販売 価格の動き	・前月までのアニサキス報道の影響は薄れつつあるが、それでもまだ景気が上向きになったとは言えない。
	食料品製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・夏の暑さで取引先小売店の来客数が増えず、客は必要なものしか購入しない傾向で、当社の受注量は前年の97%である。
	食料品製造業 (総務担当)	受注量や販売量の動き	・社名変更で販売量に影響が出ている。
	木材木製品製造 業 (経理担当)	受注量や販売量の動き	・付加価値の高い商品は売れているが販売数量が減少しており、全体的には横ばいである。所得格差の広がりが影響し普及品の販売数量が減少しているものの、景気としては変わりがない。
	非鉄金属製造業 (業務担当)	受注量や販売量の動き	・3か月前と同様、液晶関連素材が受注は旺盛な一方で、電池関係の受注が芳しくない。
	金属製品製造業 (総務担当)	取引先の様子	・景気は回復基調にあるが、取引先と同じ業界でも忙しい企業とそうでない企業に分かれており、当社の得意先の多くは後者に該当している。
	輸送用機械器具 製造業 (経営企 画担当)	受注量や販売量の動き	・モデルチェンジとなった生産数の多い製品の受注量は予定通りとなっている。
	建設業 (総務担 当)	受注量や販売量の動き	・大型物件が順調に受注できているが、技術職が人手不足で小型物件への対応が困難となり、期内的な売上高は大きく伸びていない。

	輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・ 運賃値上げの影響で大口荷主からの発送量が減少し、お中元と電子商取引の荷物も前年より減少している。
	輸送業（総務担当）	取引先の様子	・ 取引先の様子に特段変化はみられない。
	通信業（営業企画担当）	取引先の様子	・ あらゆる業種でモノのインターネットの関心が高まっているが、どこから手をつけてよいのか検討している取引先が多く、具体的な話にまだならない。
	通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・ 客のニーズ変化、積極的な設備投資、業務拡大など上向きな動きはなく、当社の販売の伸びも横ばいであり、景気の上向き感はない。
	金融業（貸付担当）	取引先の様子	・ 新築住宅着工件数に加え、分譲マンションの着工件数や貸家が前年比プラスとなっている。
	不動産業（総務担当）	それ以外	・ 前月より来客数と成約件数が若干増えたものの、2か月前とほぼ同水準になっている。
	広告代理店（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・ 客からの受注量は3か月前と比べて極端な変化がない状態で推移している。
	その他製造業〔スポーツ用品〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・ 国内市況の悪化で受注状況が多少悪くなっている。
	会計事務所（職員）	取引先の様子	・ 製造業が6月以降はずっと低調で期待していたほどには業績が伸びていない。また、公共工事も低調気味であり、全体の雰囲気を引きずられるようにサービス業も今一つの状況である。
	x	*	*
雇用関連	-	-	-
(中国)	人材派遣会社（支店長）	採用者数の動き	・ 本来であれば採用活動が落ち着く時期であるが、今期は例年にないほどの依頼があり、企業の採用意欲はいまだに高い。
	人材派遣会社（支社長）	求人数の動き	・ どの業界も人手不足感は強く、特に半導体関係、自動車関連企業での採用意欲が非常に高い。
	人材派遣会社（経営企画担当）	求職者数の動き	・ 企業の採用意欲は高まっており、派遣会社の受注状況は例年に比べると減少しているものの、人材会社への期待値は上がっている。また、求職者の動きも一時期ほどではないが、活発化している。
	求人情報誌製作会社（広告担当）	雇用形態の様子	・ 一定期間の派遣雇用から正社員雇用へ移行するクライアント企業が増えている。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・ 有効求人倍率が当県では1.71倍と全国平均を大きく上回っている。特に大型物流拠点整備に伴い、運輸業と郵便業の求人が大幅に伸び、慢性的な人手不足となっている医療福祉関係も同様である。
	職業安定所（産業雇用情報担当）	求職者数の動き	・ 新規求職者数は27%減少し、有効求職者数は11%減少している。
	職業安定所（雇用開発担当）	求人数の動き	・ 景気はやや良くなっており、新規求職者数は減少する一方、新規求人数は前年より増加しており、企業担当者の切実な人手不足の声をよく耳にする。
	民間職業紹介機関（職員）	採用者数の動き	・ 採用に厳しい企業でも、長年同業種でのキャリアを積んだ相性の良い人材を提案したところ、すぐにも面接をしたいとの返答がある。
	求人情報誌製作会社（営業担当）	求人数の動き	・ 再来年の卒業生の採用計画に関するアンケートでは、前年より採用者数を増やす企業が多い。
	職業安定所（所長）	求人数の動き	・ 新規求人数は、電気機械器具製造で事業拡張がみられる好調な製造業が前年比で3割増となっている一方、前年同月にスーパーや大手コンビニの大量求人があった反動で小売業が2割減となったことなどから、求人全体では横ばいとなっている。
	民間職業紹介機関（人材紹介担当）	求職者数の動き	・ 人手不足の企業が多いが、求人の反響は鈍く、労働意欲が湧く施策が必要である。
	学校〔短期大学〕（進路指導担当）	求人数の動き	・ 求人数と求人内容に特に大きな変化がない。
	-	-	-
	x	-	-